

注目！ アスリート

かごしま国体・かごしま大会が開催される
2020年に向けて、活躍が期待される選手を
ご紹介します。

燃ゆる感動 **かごしま国体**
—— 第75回国民体育大会 ——

2020
10月開催

燃ゆる感動 **かごしま大会**
—— 第20回全国障害者スポーツ大会 ——



全国障害者スポーツ大会
陸上競技(身体・知的)



霧島市在住
元栄 孝典 選手

H30年度全国障害者スポーツ大会
50m走1位
ジャベリックスロー1位

初めての大会で新記録

牧之原養護学校に在学していた時、先生の勧めで「鹿児島県ゆうあいスポーツ大会」に初めて出場しました。この時100m走の新記録を出せたことが嬉しくて、陸上に本格的に打ち込むようになりました。もう一つ、ジャベリックスロー※という競技を知って始めたのですが、思っていた以上に難しく、夢中で練習するようになりました。

※ロケット型の器具を投げて飛距離を競う競技

かごしま大会でも 新記録達成に挑戦したい

昨年の福井しあわせ元気大会で、50m走とジャベリックスローの2種目で金メダルを獲ることができました。残念ながら、新記録を出すところまではいけなかったのが、かごしま大会に向けてもっと練習を積み、大会新記録を出せるよう頑張ります。応援よろしくをお願いします。



国民体育大会
アーチェリー



長崎国際大学(鹿児島市出身)
三嶋 拓平 選手

H29年度
全日本学生アーチェリー男子
王座決定戦3位

緊張に打ち勝つ爽快感が魅力

高校生の時、初めてアーチェリーと出会いました。この頃は公式の距離で射てる練習場が近くになく、夏休みには片道30kmほど離れた練習場まで自転車で通い練習していました。

この競技は1点が勝敗を分けるので、緊迫した空気の中、中心を射ることができた時の爽快感はたまりません。

活気づく鹿児島アーチェリー界

今までずっと、全国大会出場に一步及ばず、悔しい思いをしてきました。今回やっと国体に出場できる好機が巡ってきたので、全力で結果を出しにいきたいと思います。また、鹿児島では若い世代の選手が増え、アーチェリー界が活気づいています。そういった選手たちの目標となれるよう、日頃の練習を怠らず、万全のコンディションで優勝を目指します。



国民体育大会
剣道



鹿児島県警察警備部機動隊
國師 翔太 選手

H30年度全国警察剣道大会
二部2位
H30年度国民体育大会2位

自分自身を成長させる武道

末っ子だった私は、兄と姉が剣道をする姿を見て、小学1年生から剣道を始めました。剣道は「礼に始まり礼に終わる」と言われるほど礼儀を重んじており、自分自身を成長させるために最も適した武道だと感じています。また、子どもから高齢者まで一緒に稽古ができるという他にはない競技性も魅力です。

全国、世界の剣士と対戦

これまで、全国警察剣道大会への出場や世界剣道審判技術向上を目的としたアメリカでの研修などを通して、全国や世界の剣士と剣を交えてきました。こういった経験を生かしつつ、かごしま国体では地元開催の期待に応えられるよう、基本を見直し、技術だけでなく気力・体力・精神力の向上に努め、優勝できるよう頑張ります。

問い合わせ先

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会実行委員会事務局 Tel.099-286-2874

かごしま国体・大会

検索